



発行所：みんなで政治を考える会  
〒615-0062 京都市石京区西院坤町2  
ケイハンシテイビル601  
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智  
国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館632号室  
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
題字：栢木寛照

# えとす

年間購読料 1,200円 (一部100円)  
第3種郵便物認可 平成2年1月18日  
口 座 01000-4-62360

平成17年 **7** 月号  
No.170

京都の智恵を日本に活かす。  
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 「第二名神議連」 決起大会開く

### 1200名を超える出席者、沿線自治体の熱意を伝える



総会で挨拶する綿貫民輔最高顧問

7月8日、第二名神高速道路建設促進議員連盟(会長・伊吹文明衆議院議員)は、第二名神の早期全線完成を目指し、決起大会を開催した。当日は、国土交通省、日本道路公団をはじめ、沿線の京都・大阪・兵庫・滋賀・愛知・三重から知事、市町村長及び議員、そして地元経済界など、1200名を超える参加者で、会場は立見が出る程で、京都府からも200名以上の関係者が出席した。

冒頭、伊吹会長は「日本の背骨が名神一本だけでは、今後の日本の交通網の信頼性、安全性が成り立たない」と第二名神の必要性を訴え、最高顧問の綿貫民輔衆議院議員も今年10月の道路公団民営化に関連して、「道路特定財源を確保し、約束した道路は造る不転の決意が必要だ」と結末を呼びかけた。

来賓の日本道路公団近藤剛総裁は、「国土のあり方としての高速道路ネットワークを採算性、効率性、地域振興の観点を考慮し、国土交通省他関係機関と早期に調整を進めていきたい」と挨拶した。

業会・中川貴由会長は「地元自治体、経済界としても、第二名神を前提に様々な計画・事業を進めており、今さら逆戻りすることはできない」と早期完成を強く要望した。

最後に、「第二名神高速道路の早期整備に関する決議」を採択し、大盛況のうち総会は終了した。

道路公団民営化を目前に控え、今後の第二名神の整備方針が決定される極めて重要な時期に、盛大な決起大会が開催されたことで、建設促進の大きな弾みになると期待されている。

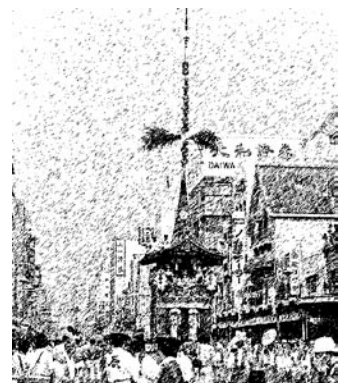
(2面に関連記事)

## 暑中御見舞申しあげます

連日、厳しい暑さが続きますが、  
お身体に気をつけ、お元気で過ごして下さい。

平成17年7月

参議院議員 二之湯 智



## 沿線の首長、大きな期待

京都府下からも市町村長をはじめ関係者が出席していたが、橋本昭男城陽市長は、「第二名神の「大津」城陽」間の計画凍結、抜本的見直しに愕然とした。既に城陽市の総合計画を見直し、高速道路を活用したまちづくりと、何よりも無残な姿を曝け出している山砂利採取跡地の再生にはなくてはならないのが第二名神であり、計画の見直しに大きな怒りを覚えた。今回、第二名神高速道路建設促進議員連盟を組織いただき、建設促進に向けて明るい見通しが開けたと心強く感じており、大変感謝している」と議連への期待とともに、第二名神の重要性を熱く語った。

また、奥田光治宇治田原町長は、「宇治田原町では、第二名神を活かした地域ビジョンを立てている。そんな中で、「大津」城陽」間が抜本的見直し区間となり、どうなることかと心配していたが、今後は、議員連盟の活動に大きな期待を寄せると同時に、しっかりと連携をさせていただき、一緒に早期建設を目指して取り組んでまいりたい」とこれからも議連とともに、沿線の府県・市町村、そして地元経済界が一致団結して、活動していきたいと述べた。

今回、総会に出席した議連所属の国会議員も、沿線府県の関係者の第二名神の早期整備を求める溢れんばかりの熱意を肌身で感じ、議連のこれまでの活動に十分な手ごたえを感じている様子であった。議連として日本の均衡ある発展のためにも第二名神の早期開通を急がなければならない。

## 第二名神建設推進を官房長官に要望 近畿のトラック・バス協会

7月5日の正午、郵政民営化関連法案の採決前の緊張した中、第二名神高速道路建設の早期実現を求めて、京都府をはじめ建設予定地沿線各府県のトラック・バス協会が、首相官邸で細田官房長官に對して直々に要望した。第二名神建設促進議員連からも、二ノ湯参議院議員ら4名の幹事が立ち会った。

席上、細田官房長官は、見直し区間の地図を見ながら説明を受け、日本列島の背骨を貫く第二名神の建設は、極めて重要だとの認識を示した。ただ、小泉構造改革で真っ先に取り組んだのが道路公団の民営化であり、そのおろしを受けて両区間も抜本的見直し区間に指定されたという経緯がある。従って、状況は厳しいものがある。

しかし、第二名神高速道路の開通は、運輸業界はもとより、沿線自治体や中部・関西の経済界の発展には不可欠である。

## 緊張感がみなぎる衆院本会議場 僅差で、郵政民営化関連法案可決

7月5日に開催された衆議院本会議は、傍聴席は特定局関係者でほぼ満席、報道関係者もあふれるばかりで、非常に緊張感がみなぎっていた。重要法案の採決とはこんなものかと思われ知らされた。郵政特別委員会の委員長報告、各党の討論に続いて、いよいよ賛否の記名投票が始まった。各党の

この法案に対する態度は最初からはっきりしている。賛否の票が順調に投票箱に積み重ねられていく。問題は自民党である。事前にかんがりの反対票が出るのではないかと予想されていた。自民党議員が青票の反対票を投ずると自民党の民営化反対議員達から、大きな歓声と拍手が起きる。賛成票、反対票が投票箱にはほぼ同じ位の量になっている。固唾を呑むとはこんな状態を指すのであるうか。投票が終わった。議場が静かになり、議員達は国会職員の票読みを目を凝らして見守っていた。結果は233対228、僅か5票で賛成票が反対票を上回った。強烈な締め付けにもかかわらず、予想外の票の出方であり、党執行部にとっては、まさに薄氷を履む思いの結果であった。この法案に対する自民党内の反対の気持ちがいかに強く、大きいものであるかがあらためて証明された。

この法案に対する態度は最初からはっきりしている。賛否の票が順調に投票箱に積み重ねられていく。問題は自民党である。事前にかんがりの反対票が出るのではないかと予想されていた。自民党議員が青票の反対票を投ずると自民党の民営化反対議員達から、大きな歓声と拍手が起きる。賛成票、反対票が投票箱にはほぼ同じ位の量になっている。固唾を呑むとはこんな状態を指すのであるうか。投票が終わった。議場が静かになり、議員達は国会職員の票読みを目を凝らして見守っていた。結果は233対228、僅か5票で賛成票が反対票を上回った。強烈な締め付けにもかかわらず、予想外の票の出方であり、党執行部にとっては、まさに薄氷を履む思いの結果であった。この法案に対する自民党内の反対の気持ちがいかに強く、大きいものであるかがあらためて証明された。

## なりふり構わぬ執行部 特別委の委員の差し替え

郵政民営化法案等の採決を急ぐ自民党執行部は、6月28日の総務会で、全会一致の原則を破り、過去に前例のない多数決によって、修正項目等を了承した。この採決に對し不満の色を隠さない議員も多く、執行部は衆議院特別委員会での採決に自信を持っていないために、反対票を投じる可能性のあ

## 郵政民営化関連法案に関する 党議拘束について

先般、お知らせした通り、6月28日の総務会において、郵政民営化関連法案に関する修正等が了承され、党議拘束を付することが確認されております。

党議決定及び党議拘束により、当然、同法案に賛成することが求められ、反対票を投ずることはもちろん、欠席や棄権することも党議違反となります。

党議違反者に対しては、厳格な処分をしなければなりませんので、各位におかれましては、衆議院本会議における採決に当たり、何卒、党議決定に従い行動されるよう重ねてお願いいたします。

平成17年7月4日

自由民主党幹事長 武部 勤

# 資源大国も夢ではない 大陸棚調査推進協議連・測量船「昭洋」視察

日本は四方を海に囲まれ、国土も狭く、石油や天然ガス等のエネルギーや鉱物資源もほとんど輸入に頼っている。しかし、日本周辺海域には、国土の1.7倍(約65万平方km)の大陸棚があり、そこにはマンガンやコバルト、ニッケルなど数十兆円の鉱物資源が眠っているといわれている。

国連海洋法条約では、平成21年5月までに、200海里を超えたところでも、大陸棚が一定の条件を満たすことを沿岸国が証明できれば、大陸棚の資源開発などの権利を認めることになっている。

但し、国連大陸棚限界委員会で認められるには、期限までに広大な海域の海底をくまなく調査し、膨大なデータを収集・分析し、日本と地続きであることを科学的に証明しなければならぬ。

日本が今後安定的に発展する基盤を築くため、大陸棚調査を政府が強力に推進するよう、自民党では議員有志が大陸棚調査推進議員連盟(会長・福田康夫前内閣官房長



測量船「昭洋」の前で

官)を結成し、支援している。この協議連には二ノ湯議員も加入している。

6月28日、議員連盟では東京・お台場に係留している大型測量船「昭洋」を視察した。測量船「昭洋」では、船内を見学しながら、実際に調査にあたる海上保安庁の担当者より、調査方法・機器の説明を受けた後、総会を開催した。

総会では、福田康夫会長は「大陸棚調査は、将来の日本の行方を左右する国家的プロジェクトである。より一層政府挙げての調査の推進を求めて行こう」と参加者に協力・支援をあらためて要請した。

## 伸び続ける社会保障費 適正な生活保護認定が必要

国も地方自治体も予算における医療費・生活保護費などの社会保障関係費は増加の一途を辿っている。医療費は毎年一兆円程度で増え続けている。国は、医療費の伸びをGDPの伸び程度に抑えようという方針であるが、それに対して厚生労働省、医療関係者からは強い反対の声が挙がっている。

一方、生活保護率が地方自治体によって大きなバラツキがあるために、国は生活保護の権限を地方に任せ、生活保護費を抑制する方針である。しかも国は補助基準を従来の4分の3から3分の2に下げる動きを見せているために、多くの自治体に動揺が起きている。

地方側は、従来通り、国の補助率の4分の3を堅持すること、そしてケースワーカーの配置数を基準通りに確保することが、生活保護の地方への移譲の前提であると強く政府に申し入れている。

生活保護制度は憲法に定められた生活権の保障であるが、以前から市民の間で、生活保護世帯に対して偽装離婚ではないか、外車を持ち回しているではないか、結構ゼイタクな暮らしをしているという批判の声音が多いのも事実である。不正な受給を見逃さないためにも、保護世帯を訪問調査活動するケースワーカーの配置数が十分に確保されることが必要である。

生活保護率は、戦後10年代まではかなり大きい比率であった。平成年代に入るとかなり低い割合で推移していたが、長引く不況の影響か、平成10年代に入ると少しずつ高くなり、平成15年は10.5%になった。

生活保護世帯は国民健康保険に加入できないため、医療費は国と自治体で全て負担しており、医療扶助は生活保護費総額2兆4千億円の51.8%で1兆2千3百億の巨

額に上る。適正な生活保護の認定は、医療費を含め社会保障費を抑えるためにも是非とも必要である。

## 参院自民党議員 京都で観光の創造を学ぶ

平成13年夏の参議院選挙で当選した自民党議員で結成する「21の会」のメンバー7名が、6月24日、南禅寺の京都市国際交流会館で会合を開き、京都観光に取り組み各方面の方々の話を聞き、意見交換をした。地元からは小野善三(京都府旅館組合団体旅館部会長)、桐木千寿(華道家・祇園「花彩」経営者)、後藤典生(高台寺執事・圓徳院住職)、玉置万美(榊半兵衛麩専務)の4名と、京都市側から星川茂一副市長、清水宏一京都市観光政策監が出席した。地元の人達からは、修学旅行生が京都観光を楽しむための工夫、京都文化を外国人にいかにか、知ってもらうかの苦労話、仏教を通じて京都の良さを知ってもらうための体験学習、京都観光を通じて京の食生活を味わってもらうなど、京都観光の最前線での生の声を話していた。議員からは、修学旅行生の誘致についてどんな努力をしているか、観光シーズン時の交通の渋滞対策はどうか、観光統計をとって観光の成果目標を立てている自治体は京都市だけで、さすが観光都市京都だと京都市観光行政を讃える声もあった。又、観光振興には、観光協会、行政(府県と市等)が一体的に取り組むことが重要である等々、色々と有意義な参考意見が出された。

生活保護費の内訳の推移(単位:億円)

年度	保護費総額	医療扶助
11年	18,269 (100%)	10,416 (57.0%)
12年	19,393 (100%)	10,711 (55.2%)
13年	20,772 (100%)	11,229 (54.1%)
14年	22,181 (100%)	11,622 (52.4%)
15年	23,881 (100%)	12,361 (51.8%)

# 国会議事堂前庭の「北山杉」 藤田氏(右京区) 枝打ち作業

国会議事堂の前庭には、昭和45年に、国会開設80周年記念行事の一環として、全国47都道府県の木が植えられており、国会見学の隠れた名所のひとつとなっている。京都府の区画には、「伸びゆく京都」のシンボルとして「北山杉」が植えられている。

この北山杉の手入れのため、二ノ湯後援会員で右京区高雄の藤田利幸氏(吉岡孝治高雄支部長の実弟)が国会議事堂を訪れた。通常、都道府県の木は、衆参両院事務局で手入れをしているが、京都府の北山杉は、「台杉仕立て」という特殊な剪定を必要とするため、専門的技術を持つ京都の林業家が手入れしている。このようなケースは、「北山杉」と山形県の木「さくらんぼ」の2つのみである。

当日は、北山杉の手入れ作業をひと目見ようと、二ノ湯議員をはじめ、京都府関係者や衆参両院事務局などが多数集った。藤田氏は細い北山杉に掛けた梯子の上で、まるで軽業師のように見事に枝打ち作業を行い、見守る人達も感心した様子だった。

一年半ぶりに「我が子」と対面を果たした藤田氏は、「穂先にホコリが積もる都心の過酷な環境でも、この木は京都と変わりなく伸びている」と順調な成長に目を細めながら、参加者からの質問にも分かりやすく応じていた。



枝打ち作業をする藤田利幸氏

## 身辺雑記

一、早いもので、あつという間の一年であった。自分では真面目に勉強してきたつもりであるが、知らないことが多い。もつと頑張らねばと、決意を新たにしている。

一、同僚議員に勧められて、寝台個室特急「サンライズ瀬戸」に乗車した。京都に止ま

らないので、大阪駅よりの乗車となる。ビジネスホテルの個室より少し小さいが、居心地は良く、ぐっすりと眠ることが出来た。

一、相次いで青少年のいたましい事件が起きている。中でも兄弟同士の殺人事件はやり切れない。親はなぜ子供の変化に気づかなかったのか。親子の対話がいかに不足しているか、思い知らされる。事件が起きている度に、有識者という方々が、あれこれ事件の背景を語り再発防止策を提案するが、それでも事件が統発する。

一、昨半夏、北近畿タンゴ鉄道岩滝口駅前での街頭演説会に私の友人の父親が病床から抜け出して応援に駆けつけてくれた。一度訪ねようと思っていたがなかなか実現しなかった。6月初めお伺いしようと、先方に電話したら、両親とも最近相次いで、亡くなられていた。仏壇に手を合せたが何で

## 歩くことは健康の基本

### 第149回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日 時：7月24日(日)
- ・出発時刻：午前8時30分(時間厳守)
- ・集合場所：京福嵐山駅(小雨決行)
- ・コース：野々宮神社→二尊院→鳥居本→清滝→清滝川沿い→高雄(解散)
- ・健康はみんなの願いであり、暑いときほど汗をかきましょう。涼を求めて、嵐山、嵯峨野、清滝川の風情は又格別です。木陰が多くほとんど坂道もなく豊かな自然と新鮮な空気を存分に。解散後は市バス、JRバスをご利用下さい。
- ・代表世話人 北村好司郎 ☎075-313-8758 (当日)090-1140-4964

### 第148回 みんなで歩こう湯歩会(参加者62名)



仁和寺中門前にて

も思い立ったらすぐに行動に移さないと機会を失うと、つくづく思った。

一、京都迎賓館を案内してもらった。なかなか立派な建物である。その時、迎賓館の館長が夏頃に一般開放を考えていると話していたが、8、9月に見学者を公募することになった。大変な数の応募者で、窓口と合わせに悲鳴をあげているとのことである。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料 1200円

郵便振替口座 01000-4-62360

口座名：みんなで政治を考える会

---

— お問い合わせ先 —

二ノ湯さとし事務所

電話 075-315-2228

---

ホームページを開設いたしました

<http://www.ninoyusatoshi.com>